

春山合宿

◆期日、ルート、メンバー

- ・ 5/1～5/3 白馬岳主稜 :リーダー I と 2 名
- ・ 5/2～5/4 白馬三山縦走 :リーダー 0 と 4 名

白馬岳主稜

報告者 : Y. I

期 日 : 2015 (H27) 年 5 月 1 日～3 日

メンバ : リーダー I、U、0

〈コースタイム〉

5/2 猿倉 3:55—白馬尻 5:00—八峰取りつき 5:25—八峰やぶ 6:30—七峰 7:30—六峰 8:30—五峰 9:30—三峰 10:00—二峰下部 10:30—二峰 11:24—終了点 13:10—頂上 13:40—テント場 14:30

5/3 テント場 4:43—白馬岳頂上 5:18—小蓮華山 6:35—船越の頭 7:20—白馬大池 7:48—乗鞍岳 8:21—天狗原 8:45—梅池平 9:30—梅のもり 10:00=梅池高原 10:20=猿倉 11:00

5月1日

登戸を 17 時 30 分出発して猿倉の駐車場に 22 時 30 分ごろ着く。すぐにテントを張って寝ることにした。満天の星空の中雪解け水の沢の音が響いていた。

いる雪面を越すとリッジが続いている。草付とやぶが出ている先に埋まっているクレバスが出てくる。

5月2日

朝 3 時起床で 3 時 55 分ごろ歩きだす。猿倉荘に計画書を提出した。トレースを追っていたら小蓮華尾根が遠くなっていくので小日向のコルに向かう道だと気が付く。

すぐに下降して戻る事ができた。白馬尻から八峰取りつきを目指して下降ぎみにトラバースした。取りつきでアイゼン、ハーネスを付けて登りだす。

先行者が 10 人ほどいる様でそのトレースを使いひたすら登って行く。やぶが出て



雪が少ないせいかガラ場が出てきて動く石を慎重に登ると雪壁の先が八峰でした。こんな感じで多分五峰までは草付、やぶ、ナイフリッジ、雪壁のくり返しだった。

草付で緊張してやぶで体力を消耗した。ただ雪面は朝方はしまっていて歩きやすかった。

五峰からは煩わしいやぶが無くなり雪だけになってきた。ナイフリッジは高度感がありトレースが無かつたらもっと難しかつたと思われた。

三峰辺りで休憩を入れようと思ったが二峰の下部にクレバス帯が不安定に見えたので休まず進んだ。

スノーブリッジが切れたようなクレバスをのぞくと下が5メートルほどあいていてスタンスも浮いている。分散して先にバイルを打ち込み何とか乗り移る。スリングを2本つないでピッケルを埋め込み踏んづけて確保とした。Uさんが遅れ気味だったの

で理由を聞くと昨夜寝しなに日本酒を2本一気飲みして二日酔いらしい。

二峰に上がると目の前に頂上直下の雪壁が出てきた。雪庇は小さく岩が出ている。まず岩が出ている所まで急な雪壁を登って行く。すぐ後ろを登っていたOさんの叫び声が聞こえたので振り向くと回転しながら落ちていく姿が見えた。止まれと何度も叫ぶが中々止まらず100メートルほど先の緩い雪面で止まった。大丈夫かと聞くと大丈夫と返事がきたので少しほっとした。

少し上がった所でロープを投げて2人に結んでもらいスタンディングで上がってもらう。

残りは最後の雪壁だが50メートルでは足りず2ピッチ行くことにした。まず中間の岩を目指すがビレイ点が取れない。そこから左上の岩のクラックに残置のナットが見える。行こうとするが雪が少ないせいか難しい。何とかナットにセルフを取り2人に登ってもらい最後のピッチに向かう。午後の雪は緩んできて急な雪壁にバイルが効かない。一日腰にさげてきたピッケルを取り出して何とか抜ける事が出来た。2人が登るとき頂上にいた登山者が気が付き撮影大会になってしまった。頂上で写真を取り白馬山荘でコーラを飲んで頂上小屋まで下ってテントを張った。



5月3日

テント場を出て白馬岳に登り三国境を目指す。縦走路は夏道が出ていて時々雪が出てくる。

小蓮華岳辺りで5人組が来るのでコールをかけるが返事がこない。赤の他人でした。

船越の頭付近で見慣れたOさんの大きなザックが見えたのでコールをかけると今度は返事がきた。そこでしばらく休憩して別れた。Nさんは今日は誕生日らしい。

白馬大池の小屋は屋根だけ出ている。乗鞍岳のゴロ場の道は夏道だった。天狗原に下りる雪面をシリセードで下りる。ヘリスキーのヘリコプターが飛んでいる。

梅池平に向かうと大勢のスキーヤーが登ってくる。ロープウェイ駅に着くと時間があったので次の駅まで歩いて降りた。つがのもりからゴンドラに乗り梅池高原に。タクシーを使い猿倉に向かい車を回収した。

